

平成 2 4 年 第 2 4 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 4 年 1 2 月 2 5 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

委員長	吉野弘保
委員長職務代理者	松原秀成
委員	早川大府
委員	土田アイ子
委員（教育長）	浅野潤一

事務局	教育推進課長	土屋典昭
	学務課長	住田雅一
	指導室長兼教育研究所長	建部豊
	学校施設担当課長	永井博史
	統括指導主事	浜田真二
	学務課学事係長	清水敏幸

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	丸山継典
	同 主査	岩生裕治

	<p>開会時刻 午後 1 時</p> <p>吉野委員長 ただいまより、平成 24 年第 24 回教育委員会定例会を開催いたします。本日は傍聴の申し出はありません。</p> <p>日程第 1、署名委員を決定します。土田委員と浅野委員にお願いします。</p> <p>日程第 2、議案の審議にまいります。第 58 号議案「江戸川区立学校設置条例の一部改正について」と第 59 号議案「区立幼稚園の今後の方向性について」は政策形成にかかわる事項であるため、江戸川区教育委員会会議規則第 13 条に定める秘密会として審議したいと考えますが、この発議に賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>〔賛成者挙手〕</p>
委員 長	<p>賛成多数と認めます。これより会議は秘密会とします。この秘密会の議事録は、それぞれ政策形成過程が終了し、決定内容が公表された後に公開するものといたします。</p> <p>それでは第 58 号議案から審議します。事務局より説明をお願いします。</p>
土屋 教育推進課長	<p>〔第 58 号議案にかかる審議 政策形成過程終了につき公開〕</p> <p>新旧対照表をおつけしております。右側が旧でございまして、別表の幼稚園の部分について、1 行目に江戸川区立鹿本幼稚園、2 行目に同船堀幼稚園とあるものを、左側の新にありますように、鹿本幼稚園については削り、船堀幼稚園の頭に江戸川区立という文言をつけるという改正です。</p> <p>鹿本幼稚園の閉園に伴う条例改正でございまして、平成 26 年 4 月 1 日の施行ということになります。鹿本幼稚園に関しましては、平成 25 年度末に閉園し、発達障害児のための施設に移行するという方針を、昨年秋以降、区と教育委員会で保護者や地元、議会等に説明をしてきたところです。また、陳情なども受け、議論も行ってきました。実際の閉園までは 1 年以上ありますが、ここで正式な廃止の手続きを進めていきたいという考えでございます。</p> <p>江戸川区立学校設置条例から、平成 25 年度末で鹿本幼稚園を削除する旨の条例改正の議案、これを平成 25 年第 1 回区議会定例会に提出するように、区長に請求するものでございます。その後、議会の審議を経て、正式決定となります。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
委員 長	<p>この件について、ご意見やご質問はございますか。</p>

委員 長	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ないようですので、第58号議案は原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員 長	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは原案のとおり決定をいたします。</p> <p>次に、第59号議案を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
住田学務課長	<p>〔第59号議案にかかる審議 決定内容公表済みにつき公開〕</p> <p>この件につきましては、これまで教育委員会協議会で何回か議題に上げさせていただいたところであります。</p> <p>小学校入学前の子どもの数の減少と、それに伴っての私立幼稚園の園児数の減少という状況は全く変わっておらず、また、区立幼稚園の教員の今後の退職の状況から、篠崎幼稚園及び小松川幼稚園を平成28年度末から平成30年度末にかけて、閉園する方針を提案するものです。各園の具体的な閉園時期については、保護者説明会などでの意見・要望を勘案して検討をおこない、後日議案として再度提案したいと考えています。</p> <p>教育委員会として方向性を決定していただければ、この後、対外的な説明を年明けに行なっていきたいと考えているところです。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
委員 長	<p>ご意見をいただきたいと思います。</p>
土田委員	<p>江戸川区の中でこんなに少子高齢化が急速に進むとは、本当に誰も想像していなかったと思うんです。10年ぐらい前までというのは、学校をもっとつくらなければいけない、幼稚園もつくらなければいけないという感じでしたが、ここへ来て人口増加も落ちつきました。</p> <p>私は葛西で急激な人口爆発の時期をずっと暮らしてきたのですが、昭和50年代から60年代ぐらいにできた集合住宅を見てみると、すごく高齢化しているんですね。なぎさニュータウン、堀江、南葛西、東葛西など。</p> <p>そして、東葛西小学校ができてからもう10年になります。</p>

	<p>地域の住民の方も少子高齢というのが著しくなったということを感じて、おっしゃっています。だんだん話題に出てきています。</p> <p>顕著な例というのでしょうか、数年前までは、私立幼稚園の送迎のバスは、例えば葛西区民館前とか、公園の前とか、そういったところに子どもたちが保護者と一緒に集まって乗り降りしていたのですが、いろいろな私立幼稚園を調べていると、今はもうそれをやっていないんですね。個人の自宅の前まで、お迎えに来て、送り届けるという時代になっているんです。安心安全を第一に考えてとはおっしゃっていましたが、もうマン・ツー・マンでお迎えができるという時代になってきている。</p> <p>いろいろな角度から考えてみても、これは仕方がなくということではなく、時代の流れということでしょうし、子育て支援、次世代支援というのは絶対に充実させていかなければいけないわけですが、そういう中で区民の方たちに理解を求めるといえることについては、皆さんも感じていらっしゃると思いますので、それほど難しいことではないかなと思います。</p>
委員 長	<p>今まで協議会という中で、事務局でいろいろ精査してくれた資料を見ながら検討してまいりました。そして、今日の教育委員会で今後の方針として、2園の閉園に関しての方向性ということで決めたいということです。</p> <p>篠崎幼稚園及び小松川幼稚園を、平成29年3月から平成31年3月にかけて閉園する予定ということで示されました。いかがでしょうか。</p>
土 田 委 員	<p>関係する方たちへの説明、地元への説明、それから議会への説明、それはともかく丁寧に、そして余り時間差をつけないでやっていただきたい。これをやっていけば、私は必ずご理解いただけると思います。</p>
委 員 長	<p>閉園までの期間は最短で4年以上、最長6年以上ということなので、丁寧に説明をしながら進めていかなければいけないと思うのですが、まず、方向性としては、そういうことでよろしいでしょうか。</p>
早 川 委 員	<p>よろしいかと思いますが、年が明けて閉園の説明を行なっていくにあたって、総論的なことは理解できるのですが、その後の使い途ですね。人、もの、お金、時間、ソフトとある中で、人に関しては退職者不補充ですし、ソフト、幼児教育は私立幼稚園にお任せするということですよ。ただハードについて、鹿本の場合は障害児のための施設に転用ということでしたが、篠崎と小松川をどうするのか。当然、区民のための施設ですから。</p>

学 務 課 長	この2園の閉園後の用途については、現在のところまだ決まっていません。閉園の方針が固まったら全庁的に検討していくことなるかと思います。
早 川 委 員	子どもが減ったからとかそういうことだけではなくて、区全体の問題として、明るい区の未来のためにという視野で、ある程度はつきりさせたほうがいいと思うのです。鹿本の場合も、必ずしも全員にというわけにいなかったのですが、障害を持つ子どもたちのために生まれ変わるというところでご納得いただけた部分というのもありますから。
委 員 長	教育長からはいかがですか。
浅野教育長	<p>早く情報提供をするということは、それだけ不確定な要素も含まれるわけで、この時期に必ずやるということではなく、大体30年度までには2園に人をつけるだけの体制が取れなくなるということを前提に、いろいろな要素を加味して、一つの目安として示せればと思うのですけれども。</p> <p>例えば小松川については、いろいろな情報を聞くと、北側のほうで開発要素もあるようです。あそこは工場が結構あったところで、その跡地に民間住宅が建つという要素がないわけでもないでしょうし、既に今ある大規模な集合住宅で子どもが増えるという予想もあります。その子どもたちが小松川幼稚園を利用することになるかどうかはよくわからないのですが、そういう要素もありますので確定的にはお示しできないけれども、方向としてはこうですよということだと思ふのです。</p> <p>そのことをご理解しておいていただいたうえで、ある程度確定的に進められるということになった時期に条例の提案をしていくということになるのではないかと思います。</p> <p>それから、跡利用のことは教育委員会で決めることにはならないと思います。教育委員会で決めるということになると、公立幼稚園以外の用途はなかなか難しいです。要素としては、今度の法律改正に出てくるような、幼稚園と保育園を一体化した施設といった道があるかどうかということになるのですが、公立の場合には国からお金が来ないものですから、なかなか難しいと思います。</p> <p>施設を建てかえない限りは、乳幼児というか、学齢前の子どもの施設として、非常に環境が整っていますので、何か活用できる道があれば一番いいのではないかとはい思います。</p>

	<p>私立幼稚園の園児数が相当落ち込んでいる中で、篠崎幼稚園がもう余り減らないのは、地域の方々から見ても、やはり施設がいいということも一つの条件だと思し、障害児の施設ということだけではなく、学齢前の子どもの課題への対応ということでの使い方を考えていくことになるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ、今はそこまで踏み込んで、次はこうしますというお話はできないと思います。そういうことを言ってしまうと、鹿本の件でも発達障害の支援センターをつくると言ったではないかということをとやかく言われていますけど、後々そういうこともあり得ますので、なかなかそこまでは踏み込みにくいです。一応、とにかく閉園の方向と、そういう要素を加味した施設として転用していくというようなこととあわせて、江戸川区の子どもにとって、全体としては良い環境になるということで考えるということです。</p> <p>公立をずっと維持していくと私立が沈んでいき、今、入園できる状況にある私立が場合によってはやめてしまうということがあれば、実際には入園できる環境が少なくなるということにつながるわけですので、やむを得ないかなと思っています。</p> <p>あとは、説明するにあたって、今在園している方々はみんな卒園してしまうので、何年後ということを見込んで、どの範囲まで説明するかということをよく考えなければいけないと思っています。</p>
委員 長	<p>今、話にあったように、今後の子どもたちにとって良い環境をつくっていかうという前向きな方針として、これを進めていきたいと思います。篠崎幼稚園及び小松川幼稚園を、平成29年3月から平成31年3月にかけて閉園するという方向性を教育委員会として決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員 長	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、そのように決定をいたします。</p> <p>秘密会はここまでといたします。第60号議案「平成23年度教育委員会事務事業の点検・評価について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育推進課長	<p>それではご説明いたします。ご案内のとおり、この事業点検・評価は、地教行法の規定により平成20年度より実施しているものです。評価対象事業は、委員の皆さんのご意見もいただきながら選定した各課1事業です。所管</p>

	<p>課による事業の分析、自己評価を加えた後、学識経験者の意見を伺いまして、それらを最終的に教育委員会として公表する報告書の案としてまとめたものがお手元の資料です。例年と同様の形式とさせていただきました。</p> <p>初めてお示しするものですので、一度、時間をかけてお読みいただき、次回にご意見をいただきながら、修正を加え、報告書として決定いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>なお、教育委員会が決定した後は、議会に報告し、ホームページ上で公表するという流れとなります。以上です。</p>
委員 長	<p>次回までに目を通していただいてということなのですが、今の時点で何か質問等あれば、よろしいですか。</p>
	<p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>
委員 長	<p>それでは次回に継続いたします。</p> <p>日程第3、教育関係事務報告にまいります。教育推進課から報告をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>教育委員会後援名義の使用承認についてです。</p> <p>今回は2件あります。1件目は、小岩北地区小学校8校卒業記念ナイトウォークです。前回の教育委員会で小松川平井地区のナイトウォークへの後援についてご報告したところですが、この小岩北地区も小松川と同日の平成25年3月23日(土)の夜から24日明け方まで開催されます。申請者は例年同様、北小会という小岩北地区8校のPTA会長さんたちでおつくりになっているOBの組織です。夜10時に小岩小を出発し、江戸川沿いになぎさ公園まで歩き、折り返して、翌朝の7時ころに小岩菖蒲園まで戻ってくるというスケジュールとなっています。</p> <p>2件目は、第30回伝統工芸展でございます。区内に2つの団体がありますが、今回は伝統工芸保存会のほうでございます。平成25年2月7日から2月12日まで、タワーホール船堀にて開催するものです。なお、前日の6日には表彰式があり、委員長にご出席いただくことになっておりますので、よろしく願いいたします。30回目の開催ですが、後援は28回目ということですので。以上2件でございます。</p>
委員 長	<p>何かご質問などはございますか。</p>

土 田 委 員	<p>過去にナイトウォークに子どもさんが参加するので、やむなく参加したという人が、去年3月11日の東日本大震災のときに、新宿から歩いて帰って来たそうなのですが、彼が言うには、ナイトウォークの経験が物すごく役に立ったというのです。</p> <p>かなり夜遅い時間に、人がいっぱい歩くのも大変だったのですが、ナイトウォークを経験していたことによって、絶対に歩けるという自信があったというんですね。どこでどういうふうに生きてくるかはわからないなと思いました。</p>
委 員 長	<p>小松川平井のほうもそうですが、ずっと続けていただきたいですね。</p>
早 川 委 員	<p>伝統工芸の賞状、副賞等については、経費削減で去年に比べて何か少なくなったりするのですか。</p>
教育推進課長	<p>副賞として賞金を出していましたが、それをなくしました。賞状と盾等につきましては、これまでどおりお出しする予定です。</p>
早 川 委 員	<p>主催者の理解は得られているのでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>秋にもう一方の団体の工芸展が開催された際に、それは開催直前だったのですが、説明してご理解いただきました。そして、こちらの団体についても同様の扱いにしたいということをお話ししまして、ご理解いただいたところです。</p>
早 川 委 員	<p>経費削減の動きの中で、ご説明して理解いただくという努力は常にお願ひしたいと思います。今回はきちんとやっていただきました。</p>
委 員 長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	<p>それでは、ただいまの報告事項を了承したいと思います。予定では以上ですが、何か他にございますか。</p>

土 田 委 員	<p>文科省が調査したところ、病気でお休みになっている先生が大変な数がいるということを、テレビや新聞で報道されておりました。その中には、やはり精神的に病んでいるという方もいらっしゃるようです。</p> <p>江戸川区の中にも何人がいらっしゃると思いますし、そういう先生に対しての手立てというのは、東京都がやることなのかもしれませんが、もちろん指導室でも大変なご苦労をされていると思います。</p> <p>江戸川区としては増えているのでしょうか、減っているのでしょうか。</p>
建部指導室長	<p>数字を今持ってまいりますが、ここ数年、大体10人前後で横ばいといったところです。</p>
委 員 長	<p>松原委員が現場にいらしゃった頃はどうか。管理職の立場からの指導とか。</p>
松 原 委 員	<p>教頭、校長時代に、教員が2名、主事が1名の計3名いました。その方の親御さんとも面会して話をしたりしたのですが、結論は退職でした。</p> <p>もちろん支援はするのですが、休職して、明けて1日勤めてまた休職というようなケースもありましたね。</p>
土 田 委 員	<p>報道によると、若い先生は保護者対応など、年齢が上がると行事の取りまとめなどによる多忙といったことが起因しているのではないかということでした。どこの組織でも、どこの社会でもあることなのかもしれませんが、やはり学校の先生がお休みしているというのは、子どもたちへの影響がすごく大きいですね。この対応というのは大変難しいです。</p>
早 川 委 員	<p>統計的に見ると、鬱病という精神疾患は0.3%出るというんですね。私も2社、500人以上いる会社の産業医をしているのですが、やはり0.3%は出ています。</p> <p>それは脳の構造上の病気ということもあって、根絶することはできないと私は思っています。それを防げることができるのか、施策としてやるのかということ言えば、精神疾患が起こるのはやむを得ないけれども、それが自殺に結びつくようなことにならないようにということは、考えなければいけないと思います。</p>
指 導 室 長	<p>病気休暇・休職をとっている教員の数ですが、平成22年が12名、平成</p>

	<p>23年が7名、今年度は現時点で10名ということです。この数字は必ずしも精神的なものということではありませんけれども。</p> <p>早川委員 精神疾患の発生をゼロにしようというのは無理だと思いますが、前兆があったときには、校長が医療機関に早く誘導して、お医者さんにかかってもらうというのが大事ですね。いい薬もたくさんありますから。</p> <p>委員長 そうですね。それでは、以上をもちまして平成24年第24回教育委員会定例会を終了いたします。</p> <p>閉会時刻 午後1時43分</p>
--	---